Ladder

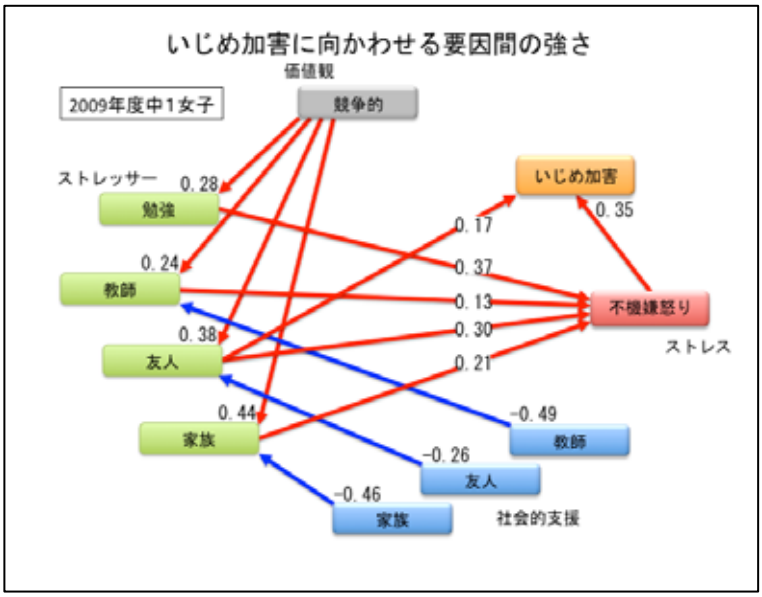
平成２２年８月２６日　　第１０号
北海道教育庁学校教育局
参事（生徒指導・学校安全）

中1ギャップ・高1クライシスを解消するために

Q　子どもをいじめの加害に向かわせる要因には、どのようなことが考えられますか。

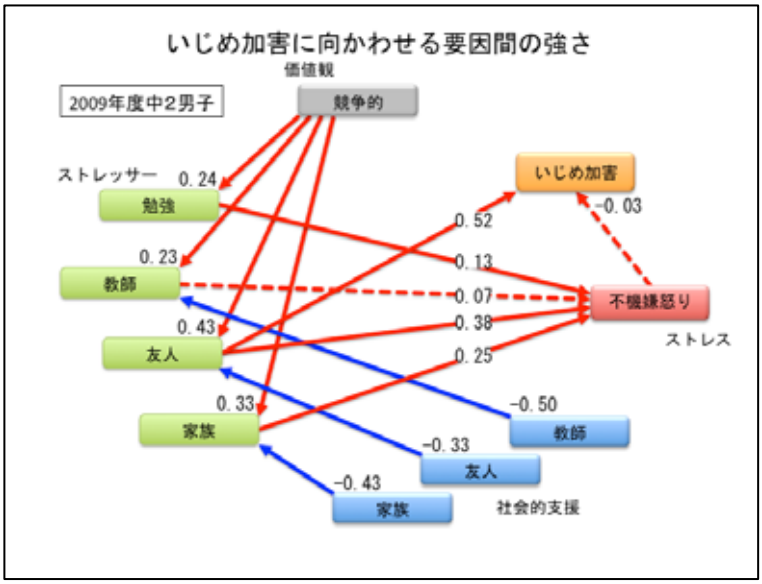
国立教育政策研究所の「いじめ追跡調査」では、いじめの加害経験と関連の深い（相関係数の大きい）要因を選び出し、それらの要因間に想定される道筋（パス）を仮定していじめ発生のメカニズムをモデル化しています。

このモデルでは、「いじめ加害」に対して、最も影響を与えているのは「友人ストレッサー」であり、他に「競争的価値観」と「不機嫌怒りストレス」の３つの要因が考えられることが明らかにされました。



2009 年度の中１女子の場合に想定される道筋

- 「競争的価値観」が強いほど、「勉強ストレッサー」「友人ストレッサー」「教師ストレッサー」「家族ストレッサー」を感じやすくなる。
- 「教師からの支援」「友人からの支援」「家族からの支援」が強いほど、それぞれのストレッサーを感じにくくなる。
- 様々なストレッサーが「不機嫌怒りストレス」を経由して「いじめ加害」に結び付く。
- 「友人ストレッサー」は、直接にも「いじめ加害」に向かわせる。



2009 年度の中２男子の場合に想定される道筋

- 「競争的価値観」が強いほど、ストレッサーを感じやすくなり、他方で「教師からの支援」「友人からの支援」「家族からの支援」が強いほど、ストレッサーを感じにくくなる。
- ストレッサーが強いほど、「不機嫌怒りストレス」を高める。
- 「教師ストレッサー」の「不機嫌怒りストレス」に対する影響は、統計学的に有意ではない。
- 「不機嫌怒りストレス」は「いじめ加害」に影響を及ぼさず、「いじめ加害」に結び付くのは、「友人ストレッサー」である。

「友人ストレッサー」、「競争的価値観」「不機嫌怒りストレス」の３つの要因に適切に働きかけることがいじめの未然防止のポイントとなる。

「Ladder」は学校間の接続を図る「はしご」を意味しています。